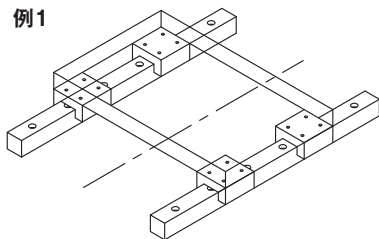


リニアシステムの組み付け構造

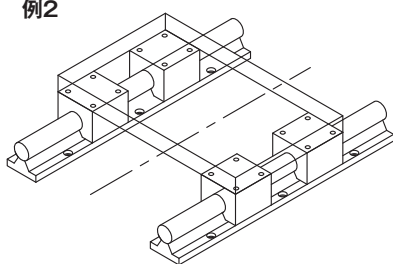
例1



<選定基準>

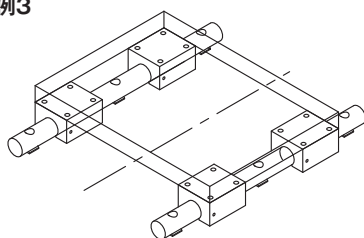
- コストは高いが、高精度、高剛性の案内として最適
- コンパクトな設計
- ボールネジの送り機構に最適

例2



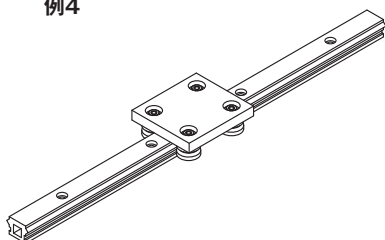
- 軽荷重で高速送りの案内に最適
- 長尺レールとしての継ぎ方法が容易
- レール上の異物除去が容易

例3



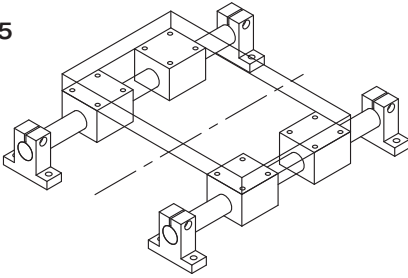
- 軽荷重、コンパクト設計、高速送りの案内として最適
- 長尺レールとしての継ぎ方法が容易

例4



- 長尺レールを単軸使用するとき最適
- 高速運転で静かな走行性能
- ベルト、ワイヤー駆動に最適

例5

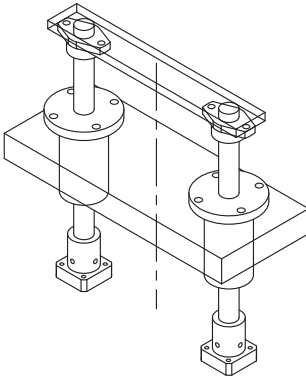


<選定基準>

規格標準品を選定するだけで

- 最も安いコストの案内機構が得られる
- エアシリンダー駆動に最適
- グリース潤滑を嫌うクリーンな環境使用に適する
MFメンテナンスフリーシリーズがあります

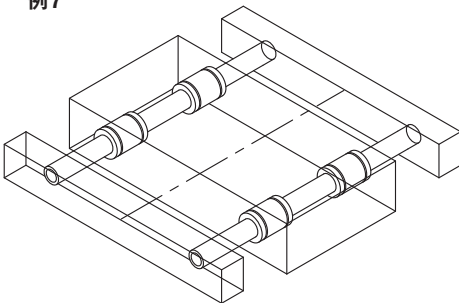
例6



規格標準品を選定するだけで

- 最も安いコストの縦軸案内機構が得られる
- モーメント荷重が作用する場合、フランジ付ダブル、ロングタイプのベアリングを選定するだけで、最適な縦軸案内が得られる

例7

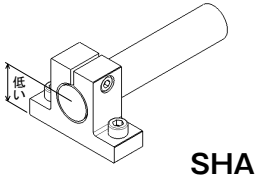


最もコンパクトで、安いコストの案内機構で

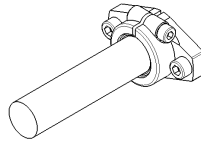
- ユーザー仕様によるハウジング設計，製作品の中にベアリングを組込む場合に適します。

●ストレートシャフトで設計するのが最もコストダウン●

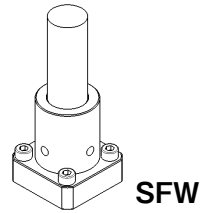
リニアシャフトの組付



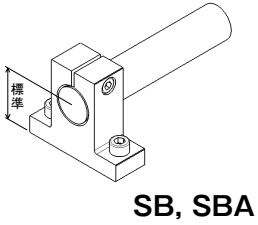
SHA



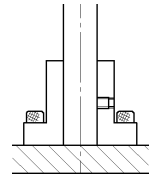
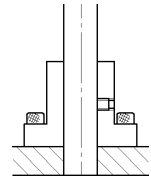
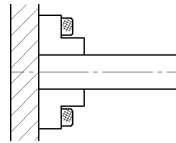
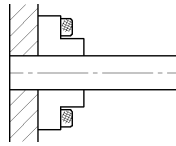
SF, SFA



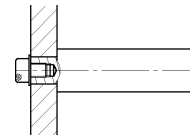
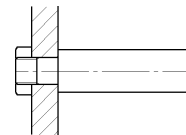
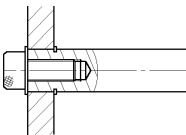
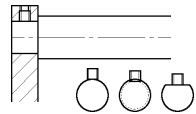
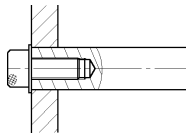
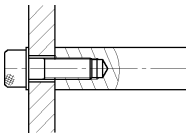
SFW



SB, SBA



軸端加工 (片端 or 両端)



ネジの締め付け

弊社ではコストダウンを図るため、ネジの締め付け方法として次の方法を提案します。

従来方式：両面平削りのスパナ溝

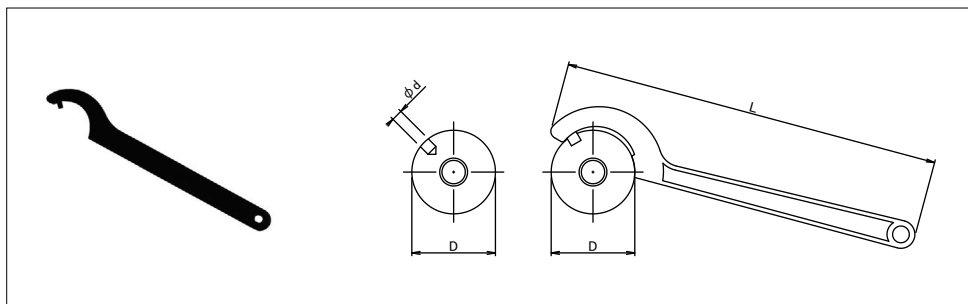
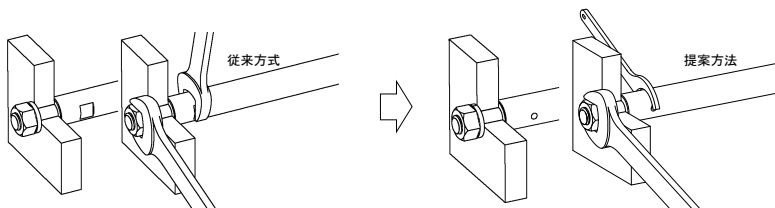
提案方法：シャフトホールド SH シリーズ

下図のような回り止め穴に、シャフトホールドで回り止めする方法

特長1.両面平削りから回り止め穴方式にすることで加工点数が削減

2.焼きなましの必要がないので硬度を維持できる

3.シャフトの軸端の剛性が向上

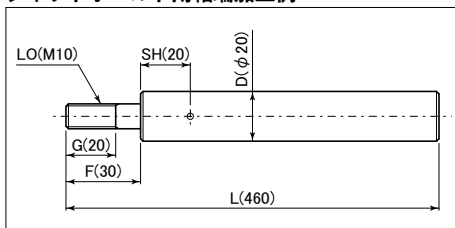


寸法表：SH シリーズ

単位：mm

型番	D	d	L
SH12	12	2	110
SH13	13	2	110
SH16	16	2.5	110
SH20	20	2.5	110
SH25	25	3	136
SH30	30	4	136
SH40	40	4	170
SH50	50	5	206
SH60	60	5	240

シャフトホールド用軸端加工例



呼び番号

SPO20 × 460 - LO10 G20 F30 SH20